

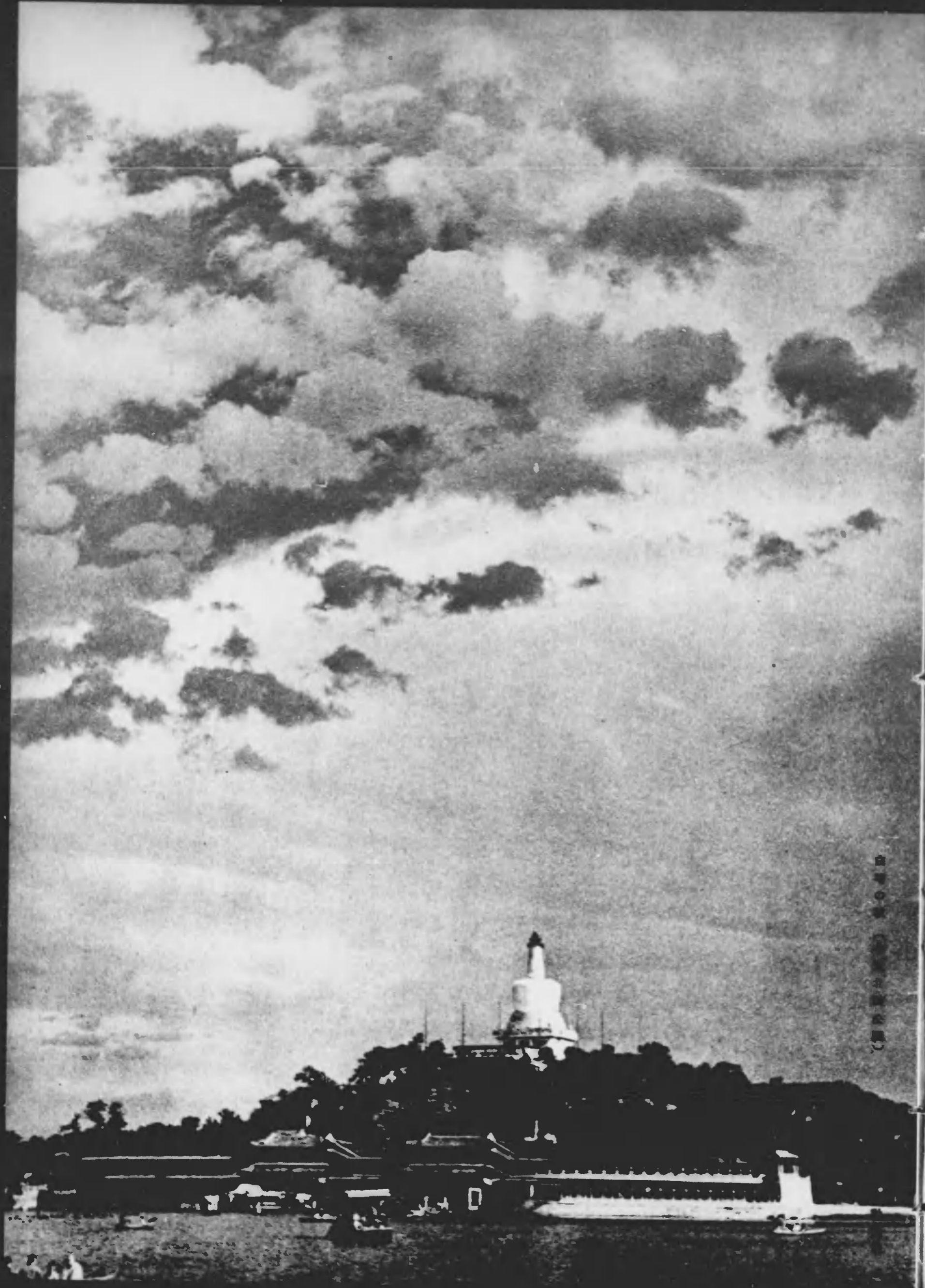
# 寫眞週報

内閣情報部編輯部  
八月卅日・第十八號・十セ

昭和十三年八月十八日 東京 内閣情報部編輯部 第十八號 十セ

内鮮舉つて日の丸のもと





支那事變

賣出

九月十五日ヨリ  
三十日まで

貯蓄債券

四百五十金増割等一・四十枚一

行銀業勸本日 省藏大





第一代総監 故公卿伊藤博文

第二代総監 故子爵齋藤實

第一代總督 故元帥寺内正毅

第二代總督 故元帥長谷川好道

第三及五代總督 故大將齋藤實



第四代總督 故大將 山梨半造



第六代總督 故大將 宇垣一成

# 内鮮挙つて 同日の丸 のもの



現總督 故大將 陸軍 南次郎



撮影 朝鮮總督府



- 1 施設廿九年朝鮮京城府の中心地南大門の股廊より
- 2 隔隣軒を連ねた併合當時(明治四十三年)の南大門
- 3 アーチも立派に連連朝鮮の姿を示す本町通り
- 4 併合を祝賀した當時の京城本町入口

朝鮮がわが国と併合して今年は滿二十九年、八月三十日が丁度その日に當る。當時韓國は内政の紊亂と外敵の強壓の下に呻吟してゐたが、日清、日露の兩役によつてその滅亡を救つた日本との併合を要する聲が上下に強く遂に明治四十三年兩國永遠の福利を増進し東洋の平和を確保するため併合條約が成立したのである。爾來歴代の統監、總督は飽くまで半島同胞の福利増進を計つて來た。

ついで五族協和の滿洲國の誕生によつて、わが國の崇高なる理想を知つた半島同胞は、さらに支那事變に對して興亞聖業の大使命を認識して奮ひ立ち、寒村僻地にいたるまで内地に劣らぬ愛國の至誠に滿ち溢れてゐる。半島の國民精神總動員運動も昨年七月、事變一周年を期して國民精神總動員朝鮮聯盟が京城に組織されて以來、漸次この組織網は全鮮十三道に及び、愛國班の數約三十二萬、その班員四百二十六萬人に達し、半島を舉げて皇國臣民化運動と國策協力の徹底に拍車をかけてゐる。

のうちに毎年約一千萬石ほど内地に送り出される朝鮮米は、農業總生産額の五割五分を占めてゐる。また滿洲事變後の諸情勢に促されて勃興の機運を迎へた半島の工業は、總督府の農工併進政策と相俟つて急テムホに進み、昨年度においては昭和六年の生産額二億五千萬圓をはるかに突破、十億圓といふ併合當時のそれと比較すると八十倍の志大な膨脹を示してゐる。大いで金、金、金のゴールド・ラッシュ、朝鮮はわが國産金の大半を占めるだけ、平地の至る所に汽船に似た姿の怪物「ドレフチャー」(砂金採取機)が産金王國朝鮮を象徴する一風景を現はしてゐる。

更に水産漁獲一億圓、埋藏量十數億圓と推算される鐵、石炭、北鮮に擴がる綿羊六十五萬頭の増殖計畫等々躍進朝鮮の巨歩は二十萬半島民衆の興亞聖業の自覺と共に限りなく押し進められてゐる。

かくて支那事變滿二周年を迎へ、新生支那が新東亞の一環として雄々しき歩を進めてゐるとき、半島同胞の生活水準は高まり、教育制度の改正、志願兵制度の確立、諸産業の開發等一視同仁内鮮の差は次第に撤廢されてゆく。そして東亞新秩序の建設に協力する朝鮮の人的、物的の寄與は非常に大なるものに加へて來た。

## 朝鮮總督府

この志願兵制度實施の時を同じくして、教育令の大改正が行はれた。從來内地人學校と異つた名稱で呼ばれてゐた校名や、教育内容が全く内地人のそれと同一となり、半島兒童の喜びは別面撰載の作文にみられるやうに、いたいけな胸を感激にふるはせた。

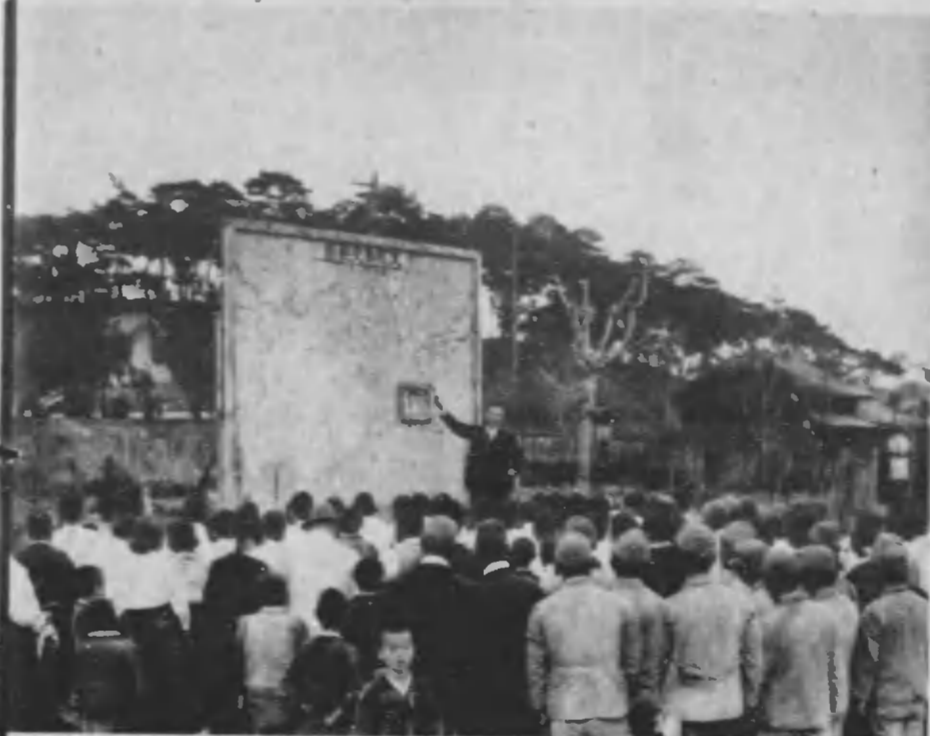
かうした半島の思想、文化の昂揚に産業も亦併行して躍進朝鮮の姿を示してゐる。

産額の王座は何んといつても農産物で、昭和十二年度年産十五億六千萬圓(併合當時の七倍)に



廿九年前行はれた日韓併合條約調印室





↑ 志願兵制度の實施は内  
鮮一帯の理想實現への大  
きな歩みである。  
多数の志願者の中から嚴  
選されて入所した本人の  
喜びはもとより家族、知  
人の誇りは熾興と立つ  
「祝入營」の旗風にも溢  
れてゐる。

↓ ラヂオなく、新聞も乏  
しい僻地では警官が良き  
先生であり、指導者であ  
る。夜の灯の下に農民と  
歌局を語り、鼓後の覺悟  
を説くのも和やかな指導  
の一面である。

内 鮮 擧 げ つ 日 の 丸 の とも

⇨ 地方の時局認識を徹底  
させようと紙芝居行脚が  
行はれてゐる。  
採集に乏しい農村での  
人気は非常なもの。

⇩ 日々の食糧を節約して  
献納する節米献金、餘暇  
を利用して集める廢品の  
蒐集。貧しい人たちの  
間にも燃えるかうした愛  
國の至情は尊い。

⇩ 小川にうつらうつらの音は朝鮮  
風物になくはならぬ静寂

⇨ とかく内房に閉ち籠る  
のを羨風とした半島婦人  
たちの間にも時局の風は  
吹く。國防婦人會の陣も甲斐  
甲斐しく機手はいま慰問  
袋製作に忙しい。

⇩ 慰問袋を送らう。今日  
も亦明日も——わたし  
ちの手で——



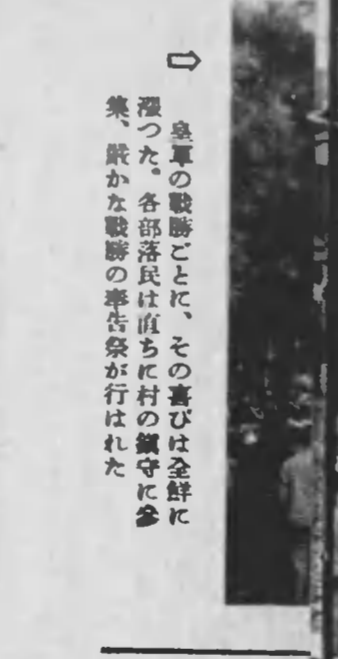




教育令が改正されて一年餘、普通學校は小學校と呼ばれ、すべて内地人同様となつた。兒童たちの國語授業は和やかである。高等普通學校も中學校と名稱が代へられた。



内鮮同士の丸の目



皇軍の戦勝ごとに、その喜びは全鮮に覆つた。各部落民は直ちに村の鎮守に参集、戦かな戦勝の奉告祭が行はれた。



べん操でて出てお行きになりました。  
私は内地人と同じやうにこんな有難い御恩を受けて  
みますからその御恩に報ひるために一心に修業して立  
派な皇國臣民としてお國をしつかり守らうと思つてお  
ます。

昨年(1921年)の春四月一日、朝鮮半島は感謝と感激に包まれました。全く内鮮一體となつた非常な有難い日です。普通學校が小學校となつたこと、教科書が小學校と同じくつたのが一番嬉しうございました。

今は小さな人でもとても國語が上手です。二年生にわかないだらうと思つて朝鮮語を使ふと「あら六年生が朝鮮語を使ふよ」と言つて不思議さうな顔をしました。私は恥かしい心の中にもまた胸がいびいになりました。小さいわづか二年生がこんなに國語が上手だとは思ひませんでした。又私の弟はわづか五歳ですが、とても國語が上手です。私が家に歸つたら「ネエちゃん」とよびます。又私がお父さんを指さしながら「オトウサン」と言つたら自分は「アトウサン」と言ひます。さうして田舎に行つた時、お父さんが抱いて汽車を下りようとなさつたら後のお母さんに「オカアサンオカアサン」と言つて大さわぎをしたので、お母さんが「おろこだな」とおつしやつたさうです。弟は朝鮮服を着ようとしなから何時でも洋服を着せましたが、目が大きくて體がふとつてゐるから内地人につくりでかわいらしくたまりません。「愛國行進曲」や「ボボボ、ハトボボ」はとても上手に歌ひます。工業學校に行つてゐる私の兄さんは軍事教練を習つて居ます。教練の日なんかは巻き髪をして國防色の洋服に帯をして、兵隊さんのやうな茶褐色の靴をはいていかに強い男らしい軍人のやうで、じつと見てゐると嬉しくてたまりません。お祖母さんは何時でも口ぐせのやうに「お前達は幸福だ、幸福だ」とおつしやいます。私のお父さんが勉強される時には、非常に苦勞をされたさうです。さうして時々お祖母さんから昔話を聞くと「昔は書生なんかで勉強し、女は外にも出られなかつたのに、今は女も出てしかも勉強まで出来るから非常に仕合せだよ」とおつしやいます。

お父さんも、私達が勉強してゐるのを見て、「もし明治天皇が内鮮一體にして下さらなかつたら、今、朝鮮はどうなつてゐることだらう。勿論勉強なんか女は一つも出来ないし何時でも人民は苦しんでゐることばかりまつてゐる。それが、明治天皇のおかげで今日朝鮮の教育を始め、交通・政治・經濟など文化が大いに進んで今日まで來てゐるが、將來どんなに進み開けるか知れない。こんな有難い御恩を受けてゐるから私もつとつかり勉強しなさいよ」とおつしやつて私の頭を一本ん操でて出てお行きになりました。

京城公立尋常小學校  
第六學年女生徒 趙 淑子





人工の湖水としてわが國第一と呼ばれる長津江水電貯水池は十億立方メートルに水を満々と湛えてゐる。この水を日本海側に導いて三十六萬キロの電力を得、あらゆる近代工業が勃興してゐる。

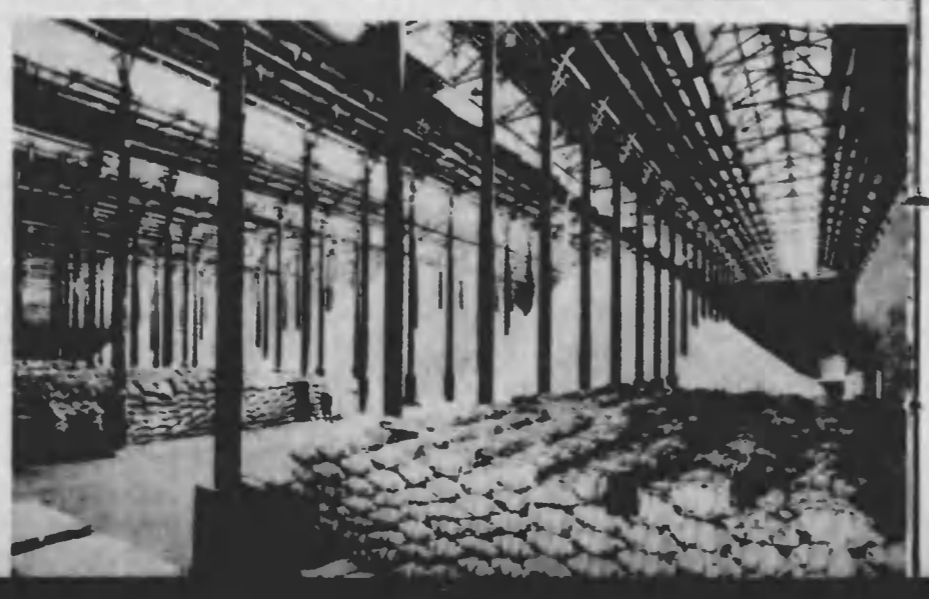
明太魚は冠婚葬祭あらゆる儀式になくはならぬ魚である。そしてまたこの魚の卵は唐辛子漬として内地人にも賞味されてゐる。

朝鮮の大地は棉花栽培に適してゐる。昭和十二年二億四千萬斤の收穫を得た農民はいま北支棉花收穫を羨がると意氣込んでゐる。見渡す棉花畑で棉花の共同栽培に汗流す半島婦人の姿は躍進朝鮮の新しい風景になつた。

金だ、金だ、産金だ。事變の遂行には金がいる。富にみる土砂から金を掘取る採金船にその抱負を聞かす。自慢じやないが、日本産金の大半はわし等が掘つてゐます。數年後には今の五倍も六倍もを掘り出すつもりです。



不老長壽の靈藥朝鮮人蔘の採集。朝鮮工業界に氣を吐く年産五十萬噸の硫安（窒素肥料）（上下右）。北部朝鮮綿羊適地には今コロデール種の綿羊二萬餘頭が生め、殖せよの時局の故に乗つて六十五萬頭増殖計畫が進られてゐる（上綿羊放牧、下剪毛）。







# 夏を大陸に

興亞青年労働報國隊

今夏支那省の取り計らひで現地軍需局に協力、身熱の満洲、北支に皇軍將兵とともに第一線の勞苦を具さに體驗しつゝ、大陸の認識を深め、そして祖國の偉大さを如實に知つた興亞青年労働報國隊の學生、青年約一萬は、暑い一ヶ月にわたる鍛錬と奉仕の生活を了へ、八月下旬から各班相前後して陽約けた額にはち切れるばかりの元氣をたたへ、懐しい母國の土を踏んだ。陸軍少將藤原道雄隊長の下に、農耕に、開墾に、醫療に精いつばい腕をふるつた満洲班青年全國青年團員、青年學校生徒からひろく募集された勤勞青年の活躍に新東亞建設の尖兵たるべき氣概と意氣をうかばう。

- 1 満洲の曠野に點在する移民入植地に幾山河離れても變らぬ日本人の心をみた。拓士ともてに宮城を禮拜する報告隊(東二道崗にて)
- 2 開拓に暇ない拓士のお手傳ひ、まづ村社の除草をしてあげませう。(瑛裡村にて)
- 3 「飯がいたみましたが直してあげませう。随分使つてありますね」使ひ古した農具に拓士の勞苦がしのばれる。
- 4 種羊は内地の農村青年にとつては珍らしい。「この毛が麗妙になるのですか、もとを見るに汚いものです」
- 5 率仕隊の醫療班は餘暇をさいて拓士の健康診斷に忙しい。
- 6 彌榮村神奈川中隊の人々とひと夜ランプの灯影に語り明かした満洲建設の話は得難い土産になつて「僕等もキツト後から來ます」と知らず／＼に心の中で答へてゐた。
- 7 この天地、この土壤、胸に起された土から放つ肥沃な香「オーイ、何てこの地は肥えてるんだらう」日本は狭い、日本は狭いと胸は張く。

撮影 満洲國通信社



# 夏を大に陸に



大學學生海軍部隊勤勞奉仕團

撮影 同盟通信社 上海支局



興亞青年勤勞奉仕團と同じ意気込みで、  
 國際都市上海に海軍側の指導施設によつて  
 今夏を有意義に過ごしたのは大學學生海軍部  
 隊勤勞奉仕團である。この大學學生勤勞奉  
 仕團は全國各大学の國防研究會々員のなか  
 から五十名を選抜したもので、七月下旬か  
 ら九月上旬まで、暑い學生服にゲートルを  
 巻き炎熱下に於ける上海の海軍管轄区域内  
 の戸口調査に、復興の基本的調査に、ま  
 たは建設記録建設工作に、暑い汗を流  
 しほこりにまみれて一生懸命働いた。  
 その間つと上海海軍特別陸戰隊本部  
 に一般兵員と同様起居をともした奉仕團  
 員の日記帖から戸口調査の折の活躍を紹介  
 しよう。



8



2、3八月十日、今日中にしらみつぶ  
 しの戸口調査を自分らの手で責任を以て仕  
 遂げなければならぬ。朝八時、學徒海軍勤  
 勞奉仕團は陸戰隊本部の奮門を出動、二十  
 五班に分れてトラックに便乗、勇躍支持の  
 調査區域に向ふ。

4、5はじめての上海、なれない現場で  
 札と名簿がなか／＼合はないが、然しその  
 まゝ投げだしてしまふことは許されない。  
 學生隊は露路から露路へ丹念に調べ入る。  
 「御家族は何人？」「え、弟さんは現在ど  
 ちらに？」「支那人相手に言葉が通じない時  
 は同行の連捕の助太刀を頼り克明な調査が  
 著々と記入されてゆく。

6日の暮れるまで、街々に灯のともるまで  
 足を痺らし咽喉を渴らし、分擔區域を調べ  
 了つた。暑い勤勞奉仕の汗に一日をさしけ  
 たのである。翌日から同じ學生たちの  
 手によつて陸戰隊本部の一室に調べた結果  
 がまとめられる。

7 勞働の充實感と燃ひられた満足感—大  
 學學生海軍部隊勤勞奉仕團には海軍式のハ  
 ンモックの中に快い眠りが訪れる。



13



6





白の召集令状



1 赤澤に代る白澤、国民徴用「技術の戦士」は藤井部隊本部に勇躍参集した。  
 2 急造の營庭内受付でカーキ色の正服装も派々しく「白の召集令状」を元氣よく差出す。  
 3 柄糸も新しい軍刀を握りしめ營内へ一歩みしめる足に自づと力がこもる。  
 4 鉄はとらぬが技術部隊の使命は重い。腕闘な體ではこの責任が果せない。最後の身體検査は極めて厳重である。



5 「しつかり頼むぞ」「僕の腕前を期待して下さい」雄々しい首途の言葉は營庭のこと、かして交され出征気分をのまゝである。  
 6 大陸建設を目指して祖國愛に燃える決意を眉宇に示した技術の戦士たちは「……第一線部隊に劣らず立派な働きをされたい」と結んだ栗原大佐の訓示に傾聴する。  
 7 技術先遣部隊を乗せた列車は〇〇驛を出発勇躍大陸へ向つた。プラットフォームを埋めた見送人の歡呼の聲は國家總力戦の一大合戦である。

國民徴用「白の召集令状」で最初動員された輝く産業戦士は、八月廿一日、新大陸建設をめざして祖國愛に燃える決意と緊張を眉宇に示し、「國民徴用」「技術部隊」と記した白澤を肩に藤井部隊に歩み寄り、晴れの首途の言葉をうけて勇躍任地に向け社途に上つた。

撮影 内閣情報部







風と呼ばれる一人前の暴風雨になつてゐる。中心の気圧は示度とも云ひ、之が低い程強い暴風である。七百四十兆の暴風は至つて弱く、七百三十兆の暴風は風雨が相當に強くなる。七百二十兆になると暴風雨を伴ひ、七百二十兆以下では大暴風雨になる。

暴風が北西に進んで、琉球附近やその東方の太平洋、或は支那東海に入ると、この頃が第二期で一番強い時代である。暴風の伴つて来る暴風雨は中心程強く、中心から離れるに従つて風は弱くなる。中心の暴風雨は周囲と比較して非常に強いから、中心の襲来をうけるか、中心から外れるかで被害が非常に違ふ。處が第二期の暴風は、それ以後の進路を色々に變へるのである。或るものは真直に支那にゆき、或るものは進路を北に變へて東海や朝鮮に向ひ、或るものは北東に向つて内地を襲ふ。

従つてこの時期に中心は何れに向ふかと早く判断して、危険區域を警戒しななければならない。その爲には、南西諸島や、小笠原方面の測候所が非常に重要な役目を持つ事になる。現在此の方面には、七つの島に測候所を置き、現在幾ヶ所の増設が行はれてゐる。又、琉球と小笠原の中間の廣い海面に對しては、氣象観測船を配置する必要も生じて来るのである。

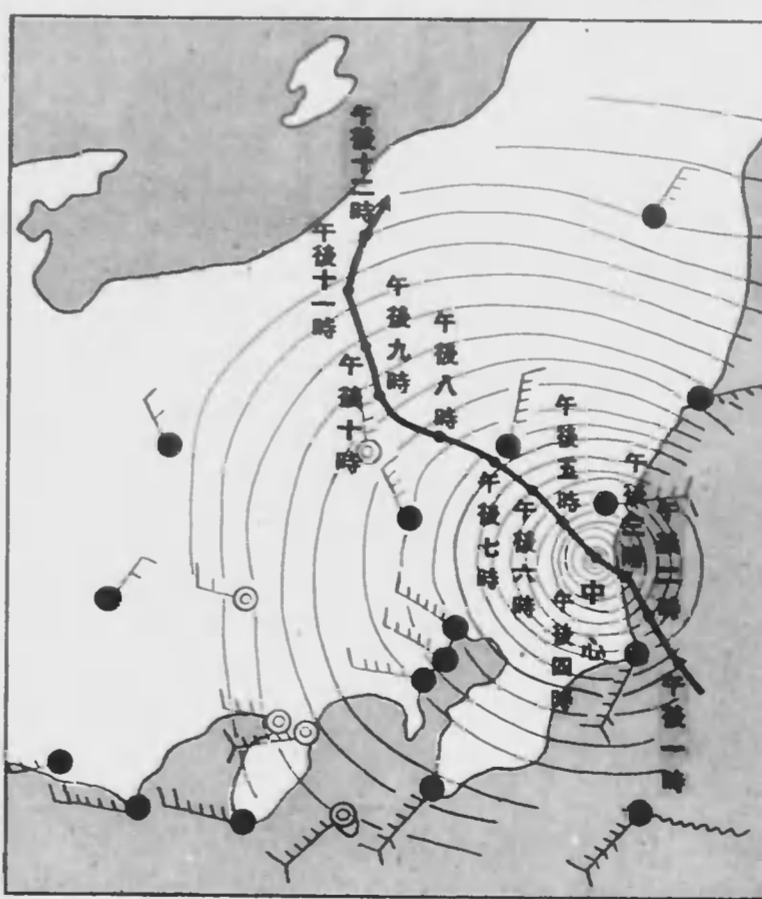
今年には暴風が頻りに發生して、内地附近に襲來するものもかなり多數に及んでゐる。餘り澤山出来るせいか一つは例年の暴風よりかなり弱く甚しい暴風雨を伴ふものは少いようである、しかし何時強いのが現れるかわからぬから安心は出来ない。

暴風は南洋で出来る低氣壓であるから、先づ發生の直後にこれを捕へて、その後の動向を監視せねばならぬ。南洋には十數箇所の測候所があり、本年からは更に二箇所増設されて、暴風の發生を早く知る事に努めてゐる。

暴風が出來た時には、先づ附近に強いスコールが起り今迄同じ方向に吹いてゐた風が次第に渦巻になつて來るのでなく捕へる事が出来る。この時の渦巻は未だ餘り大きくなく、直径は二百から四百軒位しかない。従つて南洋のような廣いところで、測候所の数が少いと、これ位の渦巻は網の目からこぼれてしまふ虞がある。その爲に南洋群島では漸次測候所の敷をふやしてゐる。

この頃の渦巻は第一期で未だ暴風といふ程に生長してゐないが、次第に北西に進んで、臺灣や琉球の東方に出來る頃には、直径も六百軒から八百軒といふ大きい渦巻になつて、風も次第に強くなり、渦の中心の氣壓が低くなつて來る。この頃にはもう暴

これ等の監視網を抜けた暴風が、やがて内地に近づくと頃にはすつかり成熟してゐて、間々大被害を起すに至る。内地に接近した暴風が、上陸するやうな大問題である。何處に上陸するかは一刻も早く知らねばならない。その爲に内地の太平洋側の主な島や岬に相當多數の測候所が配せられてゐる。これ等の暴風防衛第一陣、第二陣、第三陣、何れも不便な僻遠の地に多く、此處に働く戦士達は、一日も休む事なく、又暴風雨に際しては生命を危険にさらしつつ、黙々として氣象観測を行つてゐる。



扱つてこれ等先陣の測候所の外に、後詰の各測候所は中央氣象臺を旗頭として、一刻も早く暴風の動向を一般に知らせる爲に無線電信で緊密な連絡を取つてゐる。全國約二百の測候所の氣象観測は、毎日四回電報で中央氣象臺に集まり、この結果を中央氣象臺に作成される。その結果は直ちに中央氣象臺から無線電信で日本全國の測候所、飛行場、船舶等に放送され、放送局からはラヂオで津々浦々にまで放送される。

暴風が接近すると、測候所が発する一日四回の氣象電報は八回に増加し、更に接近すると二十四回に増加し、刻々に暴風の動向が通報される。この頃が本年八月五日、關東地方に上陸した暴風の天候圖である。●は雨、○は曇、羽印の符は風向及び風力の程度を表し、波印の符は浪の高さを示す。例へば、Fは雨で風速四米から六米の和風、Wは風速四十米をこえる暴風、Sは一浪高シを、Tは二浪高シを示す。なほ、この圖は同日下午四時現在。

- 一、暴風の時は成る可く外出を避けること。屋外では非常な勢で物が飛ぶから思はぬ怪我をすることがある。
  - 二、家の窓や戸を吹抜かれぬやうにすること。門を止めるか止むを得ずは釘で止めること。
  - 三、暴風警報が出たら、煙突や旗のやうな倒れ易いものを補強すること。
  - 四、火の元を氣をつけること。屋根を吹抜かれて大火事になつた事がある。
  - 五、電氣が消える事が多いから、蠟燭と燭寸を用意すること。
  - 六、高潮の危険のある時は早くから避難すること。高潮は暴風の最中に突然來るから数町すら歩いて避難する事は出来ない。
  - 七、高潮或は出水の危険のある時は早くより荷物を片付け疊を上げられる準備をすること。この時は飲水と食料の用意を忘れぬこと。
- 中央氣象臺技師 大谷 東平



昭和七年八月十一日、空戸港に荒れ狂つた暴風による感傷

昭和七年十一月十四日、東京日比谷公園内の大木を吹き飛ばした暴風の威力



暴風來の警報に備り連絡通信にあたる暴風防衛陣

撮影 中央氣象臺



# 家庭急救箱火傷



第一度、二度の火傷は、患部に消毒薬を塗ります。  
 1 水疱が出来た場合、まづ針を火で焼き消毒し、まづ消毒した針で水疱の下部に横から穴をあけ水分を出します。  
 2 そして、患部の痛みを止める場合は患部の上から冷たい水で冷やします。



わが国では火傷で死ぬ人が毎年三千人もあります。火傷は熱の作用する時間にも関係しますが、七十度以上では短時間でもおこります。日常最も多くみられるのは熱湯によるものですがその外火傷、蒸気、油、アイロン等高熱した液体や金属でおこります。沸騰してゐる油は百度以上になつてゐるので、熱湯に比べてひどい火傷を惹きおこします。注意しなければならぬのは望遠鏡で太陽を覗く時、黒いガラスを用ひないで直接覗くと目が火傷してつぶれてしまいます。これは目の網膜が黒いので丁度凸レンズで黒い紙を焼くと同じやうになるからです。火傷はその程度によつて三種に分けます。皮膚が赤くなつて少し腫張る程度のを第一度、水疱ができるのを第二度、皮膚が赤黄色に焼け爛れて體の一部が死んでしまつたのを第三度としてゐます。

火傷は非常に痛いものですから先づ痛みを止め、又化膿しないやうにせねばなりません。第一度第二度の小さなものは家庭で治療する事が出来ます。それには油を塗るのが一番です。油は局所の刺激を避けて鎮痛と化膿防止に役立つからで、揚物用油、ポマード、樟油、髪付油、ワセリン等ならなんでも結構です。更にこの上から冷たい水で冷やして、先づ火傷面へ油を塗つてから清潔な綿布で巻くかガーゼをあて、醫者に駆けつけます。やゝ大きな水疱は穴をあけると化膿する危険がありますから穴をあけず、醫者に見せた方が安全です。火災などでひどい火傷を負つた時は火のついた着物を揉み消して脱がせ油を十分塗つて痛みを和らげてから擔架等で一刻も早く最寄の醫者へ搬送します。これはリンゲル注射その他の処置をするのに醫者の所の方が都合がよいからです。火傷による危険性は深さより火傷面の廣さに関係します。體表の三分一以上に火傷を受けた時は生命の危険があります。

厚生省 消防局



さてこの火傷の緊急手當は、まづこの患部にもある樟油、胡椒油、ポマード等の油を患部に塗ります。



患部を清潔な布で軽く包み、患部をその程度に腫れて、速に醫者の手當を受けませう。



お医者様を呼ぶまづ  
 其二



たきもの湯を、子守唄のつもりか、坊やは御湯、悦一秒、二秒、アッ！ たきならぬ物音に外出して、夢中になつて、あた母が駆けつけた時は坊やの顔一面に！火傷

お父さん行水です！ 奥の間へ母は告げに行くと、母の注いだ熱湯とは知らず坊やはハヒクで顔に手を突込み、熱い！ 火傷

お客様が待つてゐる、早く天婦羅を揚げたいばかりにガス栓を一杯開けた途端、煮えかきた油に火がはいつた吹き上げる、危い！ 火傷



撮影 望月文香



読者のカメラ



淨清根六て脚鐵

八月十九日正午富士山頂を鐵脚で征服した鐵脚隊友同志會の十三勇士はかつて大陸の占領地で叫んだあの感涙を再現、雲峰に萬歳のどよめきを上げた

1 六合目附近に登る勇士には疲労の色さへみえず進め、進めの鼓動が響動する

2 山頂を征服した勇士の顔は紅い「やればやれる」自信に無限の希望が湧く

3 雲脚でよくぞ登つた勇士の、淺間神社に縋つき鐵脚隊友の哀願を祈り、皇軍將士の武運長久を祈る敬虔な姿は附添の愛國婦人會員の目頭をうるませた

東京市 森 武二郎



復習室

本誌からあなたは何を學んだてせうか？

- 1 颱風襲來の警報をうけた時は、各家庭ではどんな豫防手當をしなければなりませんか？ (16頁)
  - 2 颱風の襲來豫報は何によつて通報されますか？ (16頁)
  - 3 いよ／＼颱風が接近して來ると中央氣象臺から一日に何回警報が發表されますか？ (16頁)
  - 4 朝鮮がわが國に併合されてから何年になりますか？ (3頁)
  - 5 昭和十三年四月朝鮮に劃期的な新制度が實施されました、何んでせうか？ (3頁)
  - 6 朝鮮にはどんな産物があるでせうか、その主なるものは？ (7頁)
  - 7 朝鮮の初代統監の名は？ (2頁)
  - 8 朝鮮の工業生産總額は併合當時の何倍になつたでせうか？ (3頁)
  - 9 火傷の應急手當は？ (19頁)
  - 10 白の召集令狀といふものを御存知ですか？ (14頁)
- 一問十點として何點でしたか？

★表紙

初秋の半島にはためく日の丸は柔らかな朝鮮に映えて悠々の平和を表現してゐる。八月三十日の日韓併合記念日を祝ふ旗波に半島同胞の限りない安穩な顔が映る。日の丸は私達にも愛らぬ慈愛をもたらす。大陸に押し進む日の丸も、世界に雄飛する日の丸も皆私達の日の丸だ。

撮影 朝鮮總督府

寫眞週報(兼贈)

昭和十四年八月三日印刷發行

■ 内閣情報部  
東京市麹町區本町四丁目  
内閣情報大臣官舎内

■ 印刷部  
東京市麹町區本町  
東京市麹町區本町

所 込	中	定 價
寫眞材	内閣印刷局發行課 電話九ノ内(三)三五一九 郵政手帳一九〇〇〇	一冊十錢
各書店	全國各地官雜販賣所 東都書籍株式會社 各書店・評賣店 各新聞販賣店	半ケ年(前)二圓四十錢 一ケ年(前)四圓八十錢 (外購郵費に依る場合は別)
各新聞	半ケ年分未納送附希望の方は一冊十錢の割合を以て前金を添へ御申込み下さい	



老養減遞に蓄貯億百

日清生命



人生の行路  
安全明朗

内の丸・京東・社本



寫眞週報 昭和十三年二月二十二日 第三編 東京新聞社 昭和十四年八月五日發行 (週刊 日本新聞社發行) 第八十號



# 腸疾患に ラクトメターザ

最近學界に知られてゐる代表的乳酸菌數種を選び獨得の方法に依つて生活乳酸菌の外に大量の乳酸菌酵素、發育促進性ビタミン(ラクトフラビン)等を含む特色があり、味甘く、絶對無害性ですから、乳幼児にも安心して應用出來ます。各種腸疾患の根源を除くに著效があり、特に乳幼児の消化不良、下痢、腸カタル、綠便等に良效が期待されます。

(説明書進呈)

東京・日本橋・室町 三共株式会社

— 五〇錠入・五〇 —

内閣印刷局印刷發行

(特稿、報道)・A4格規定期は三人の専本